第4回近畿・東海・北陸ブロック青年交流学習会

第4回近畿・東海・北陸ブロック青年交流学習会を12月22日～23日、奈良県人権センターでおこなわれ、和歌山から7人が参加した。

今日の議論を運動にとあいさつする川口議長

はじめに、川口正志・近畿・東海・北陸ブロック議長・奈良県連執行委員長から「青年の夢を描きながら願いを込めて問題の提起をしてもらいたい。今日、明日の交流会をもちかえり、運動に転化してもらいたい」とあいさつした。つづいて、伊藤満・奈良県連書記長から「部落差別をどう捉えるか・今日的課題は何か」について講演されたのち、各府県連からの活動報告で和歌山から、久保智弘・青年部事務局長から「県内の各支部に青年部と県連執行委員で青年部オルグ活動の状況と1年間の活動状況について」を報告した。その後、1から7グループにわかれて「被差別部落の若者（子ども）達に部落差別をどのように教えるのか、学校における部落問題学習はどのようにすすめられるべきか、インターネット上の部落問題のとりくみについて」を協議した。夕食交流会では、各地域の名産品を用意して恒例のビンゴゲーム大会がひらかれ青年の交流が深められた。

2日目は、崎浜盛喜・奈良―沖縄連帯委員会から、「沖縄差別と米軍基地の問題、そして部落解放運動との出会い」について講演した。その後、各グループにわかれて協議し、報告した。

ネット上の差別をどう対処するか

ネットと部落差別研究集会

「ネット社会と人権確立」と題してシンポジウムが12月15日、HRCビルでひらかれ、全国の行政関係者や研究者、各都府県連などから150人をこえる参加者と和歌山県から28人が参加した。

はじめに、北口末廣・部落解放・人権研究所理事兼第6研究部門顧問兼近畿大学教授は、「ネット社会のうえで、電子空間上の部落差別事件の99パーセントを占めている。50年前の12月10日、国際人権デーに発生した事件、三億円事件が発生した。2018年の大きな窃盗事件は、コインチェックから盗まれた580億円事件。マネーロンダリングされて回収不能となった。窃盗事件はこの50年で大きく変わった。そして、差別事件も大きく変化してきた。

差別にあてはめてみると『部落地名総鑑』事件を凌駕して、ネット上で全国の被差別部落が確認できるようになってしまった。また、Face bookの8700万人のデータが流出し、ケンブリッジ研究所には1億1600万人分が不正に取得された。部落差別を中心に考え、ネット上の人権侵害にどう対処するのか、シンポジウムで深めていきたい」とあいさつした。

つぎに、第6研究部門「ネットと部落差別研究会」から松村元樹・（公財）反差別・人権研究所みえ事務局長がこれまで積み上げてきた研究内容を報告した。

研究会では、3つの柱、①「推進法」第6条「実態調査の実施」を具現化するためのとりくみ、②実態把握をもとに、ネット上の部落差別の解決のための政策提言、③公開研究会や非公開研究科を開催し、有識者や研究者から示唆いただくことを中心にとりくんでいる。具体的には、行政によるモニタリング事業の報告や差別サイトからの広告撤退へのとりくみ、同時に広告業界との連けい、モニタリング団体のネットワーク化と実施組織の拡充、プロバイダ業界へ部落差別の禁止規定の導入と具現化にむけた要請の必要性、全国銀行協会の行動憲章の具現化にむけた要請などが報告された。

パネリストから多くの助言があった

ネットと部落差別研究集会での報告をうけ、シンポジウム「ネット社会と人権確立」と題して、3人のパネリストと司会兼パネリストから報告があった。ネット上の差別書き込みや差別サイトには、①ポジティブコンテンツの提供（LINEやFacebook、NPO法人などによるエデュケーターの役割）、②サポーター機能の充実（相談窓口など）、③カウウンターによる通報、④チェッカー（企業や行政がブロッキングリストの作成）などを駆使し、対応することが大切。ある差別サイトに掲載されている企業広告を撤去させるため、一人の人物が動いて、撤去するという判断を企業にさせたという経過がある。これまでの経過は、最高裁で判決がだされ、判例ができた。これは「推進法」が施行されたことも大きいと報告された。

■シンポジウムパネリスト
津田　大介
（ジャーナリスト・早稲田大学文学学術院教授）
荻上　チキ
（評論家・パーソナリティ）
谷口真由美
（大阪国際大学准教授）
川口　泰司
（一社・山口県人権啓発センター事務局長）

今後の日程

（3月）
1　中央委員会（東京）
2～3　第76回全国大会（東京）
10　第5回女性対策部会議
20　第33回西光万吉先生を偲ぶ会（井阪文化会館）
22　狭山ビラ統一行動
26　全国狭山活動者会議・住民の会交流会（東京）
28　石本一也決起集会／教宣部会議
29　県議会議員選挙告示日
　ふじ本まり子出陣式
30　第1回青年運動部長会議（HRCビル）
30　伏原支部定期大会（伏原文化センター）
31　ふじ本まり子統一行動

（4月）
7　県議会選挙

（1ページから↙）
人権政策課長、伊藤寿英・人権施策推進課長、玉置昌彦・人権政策課副課長、森本吉郎・人権施策推進課副課長、奥田幾久子・人権政策課、瀧川泰治・同課、山本洋将・同課

○和歌山市
瀬崎典男・市長公室長、森泰之・総務局長、嶋本智行・危機管理局長、三橋郁・財政局長、和田年晃・市民環境局長、佐伯正季・健康局長、川崎秀行・福祉局長、有馬専至・産業交流局長、鈴木豪・都市建設局長、富松淳・公営企業管理者、白井光典・企業局長、山下直樹・消防局長、津守和宏・教育局長、山下勝則・市民部長、星田光浩・秘書課長、谷口修章・人権同和施策課長

○橋本市
櫻井康雄・人権・男女共同推進室長

○上富田町
藤江康輝・総務政策課

●県市町村議会
吉井和視・県議会議員、長坂隆司・同議員、岩井弘次・同議員、松井紀博・和歌山市議会議長、吉本勧曜・岩出市議会議長、坂本康隆・紀の川市議会議長、山本忠相・和歌山市議会議員

●労働組合・各種団体
池田祐輔・連合和歌山会長、近藤忠司・和歌山同企連代表幹事関西電力㈱和歌山支社長、赤松明秀・和歌山県同宗連議長、田上武・部落解放・人権行政確立要求県実行委員会会長、朴正隆・部落解放和歌山県共闘会議議長、仲尾信博・本願

（4ページへ↖）

支局からのお知らせ

お気軽にお電話を！

和歌山支局では、各支部でのとりくみを積極的に紹介していきたいと思います。支部活動や子ども会活動など、支局までお知らせいただければ、取材に走ります。もちろん、投稿記事も大歓迎！　写真を添えて支局までお送り下さい。

（発送先）〒640-8314
和歌山市神前405-3
部落解放同盟県連合会内
解放新聞和歌山支局宛